



Title	ペルーで目にした語彙と表現（拾遺）
Author(s)	森本, 久夫
Citation	Estudios Hispánicos. 1985, 10, p. 53-61
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/97902
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ペルーで目にした語彙と表現 (拾遺)

森 本 久 夫

1.

1982年3月から1983年3月までの1ヵ年にわたるペルー滞在中にとくに私の注目をひいた語彙と表現については「ペルーで目にした語彙と表現」においてとりまとめたつもりであるが、そのとき洩れたものなどを以下にとりまとめ拾遺とすることにした。ここでは前稿のように必ずしも *peruanismo* を中心とはしていない。ただ、ペルーで実際に目にしたり、耳にしたものであることには変わらない。

2.

a efecto de のために。María Moliner には *a efectos de* が出ている。
... La Asociación Nacional de Periodistas (ANP) calificó de vil el crimen de estos trabajadores, casi todos de diarios de oposición, en una zona ocupada militarmente. La Federación de Periodistas del Perú (FPP), por su parte, demandó al gobierno y a los comandos militares y policiales, una extrema investigación de lo ocurrido, a efecto de establecer las responsabilidades del caso. (El observador, 30 de enero de 1983)

afilar (卑) 性交する。街頭の新聞売場で販売されている「Piel」という雑誌に載っている *vocabulario sexual* 欄の説明ではペルーでは卑わいな意味で使われるとのこと。実際に口にされるのを耳にしたことはない。

anticastrista *adj.* 反カストロの。

anticucho *m.* 牛の心臓の串焼き。前稿「ペルーで目にした語彙と表現」

で肝臓としたのは誤り。パーティなどでは竹串に心臓の切れを刺して焼いたものがよく出た。

año lectivo 学年。

El ministro de guerra, miembro de la promoción “Junín”, pasó al retiro en julio último porque en la Argentina, país donde cursó la carrera militar, el año lectivo termina en ese mes. (El Observador, 31 de diciembre de 1982)

balón m. de gas ガス・ボンベ。どの家庭もボンベ詰めของガスを燃料に使っていた。空きびん、空き缶、プラスチック容器など貴重品であるリマで、ガス・ボンベを盗まれて立腹する主婦の姿をいく度か見かけた。

bebé-probeta m. 試験管ベビー。

belaundista adj. ベラウンデの

cabrito m. 子山羊の丸焼き。ある日系人の家で餅つきをするというので出かけると庭で子山羊を丸焼きにしてごちそうしてくれた。12月末のことで、暑い日であった。

cachimbo m. 1年生。

Mufarech pertenece a esa clase privilegiada de hombres escogidos por los dioses (un año en la constituyente y dos de diputado le han servido más que su semestre de cachimbo en la Universidad San Martín de Porras.)(La Prensa, 15 de noviembre de 1982)

cagón (卑) 大便をすること。

(la) **Capital azteca** メキシコ市のこと。

(la) **Ciudad Luz** パリのこと。

clínica de calzado Mercado Mayorista No.1 の近くの靴の修繕屋の小屋の壁に書かれていた。

coliseo de gallos 闘鶏場。闘鶏そのものは **pelea de gallos** と呼ばれる。

El Comercio 紙に載った記事によると東南アジアからヨーロッパへ入り、ペルーの闘鶏はイスパニアからきたという。雄鶏の足に刃をつけて闘わせる。一瞬で倒れ、絶命する鶏がいる。カリャオの日本人会会長の比嘉氏の案内でカリャオの闘鶏場へ出かけたことがある。集まった人のほとんどがメスティンか日系人を含む東洋系の容貌の人だった。丸めた紙幣が飛び交い、賭けが試合毎に行われる。¿ Quién va al derecho ? (右の

に賭ける人はいないか) という言葉が最初私の耳には [Kémbar derét/o] ときこえ、よく意味がわからなかった。

Corte. (電話で) 切ってください。← *cortar*.

逆に「切らずに話しつづけてください」は *Siga*.

cular (卑) 性交する。← *culo*

chiquito m. (卑) = *pene*. 前述 *Piel* 誌には大きな女性器との対比から来たとある。

chucha f. (卑) = *vulva*

chuchos m. pl. (俗) 乳房。chucho はケチュア語。

chulo adj. = *guapo*

— *Hasta luego, bonitas.*

— ¡ *Qué chulo!*

(女学生の一団と別れるとき, *bonitas* と言うと, 引率者(先生)らしい人が *chulo* と言った)

(la) **Dama de hierro** 英首相 Margaret Thatcher のこと。フォークランド紛争のときジャーナリズムを賑わした。なお女性の首相のため *la primer ministro británica* と呼ぶ新聞 (*El Observador*) と *la primera ministra británica* と新語を使う新聞 (*El Comercio*) があった。

(el) **Día de la Paz Mundial** 1月1日。

El año pasado, lo pusimos de pie. Este año, lo haremos caminar.

「昨年私たちは彼を立てた。今年は彼を歩かせよう」。テレビでの身障者のための協力呼びかけの言葉。

en relación a に関して (= *con relación a*)

En relación a América Central, Aguirre Lanari dijo que “todas formas de intervencionismo constituyen una amenaza para la paz” y criticó a “países de otras áreas geográficas que consideran a nuestros países como campos propicios para agresiones y aventuras militares.” (*El Observador*, 13 de enero de 1983)

fenómeno de la Corriente de El Niño エル・ニーニョ現象。クリスマス頃にペルーとエクワドル沿岸近くに起こる弱く暖い海流をその時期から *Niño-Dios* (幼な子キリスト) に関連させて *El Niño* と呼んでいる。リーダーズ・ダイジェスト1984年1月号 (イスパニア語版) 中の “*El Niño*

devastador” という記事 (pp. 30~34) および *El Observador*, 1983年 1月28日付の記事を参考にしてNHKテレビ・スペイン語講座テキスト1984年 8, 9月号に「エル・ニーニョ現象 (西太平洋から押し寄せる異常暖流)」(p. 97)と誌したところ, 川越敬一という人から「エル・ニーニョ現象の説明は全くまちがいです」という手紙を受け取った。私は反論する知識はない。「異常暖流」と書いた理由は当時のテレビの説明および次に挙げる引用箇所に基づいている。

Pércovich, sin embargo, no dejó de mostrar su preocupación por la situación de la pesca a efecto del estado climatológico y el fenómeno de la Corriente de El Niño, (*El Observador*, 28 de enero de 1983)

Los científicos piensan que estos factores atmosféricos desastrosos se relacionan con una misteriosa perturbación atmosférica y oceánica generalizada, popularmente llamada El Niño, que se forma en las sobrecalentadas aguas del Pacífico. Este nombre alude al Niño-Dios, ya que cada año, más o menos a principios de la temporada navideña, se presenta una débil corriente tibia cerca de las costas de Perú y Ecuador . . . Tal fenómeno térmico de grandes proporciones y alcance se conoce ahora como “El Niño-Oscilación Sureña”. (El Niño se aplica a la corriente oceánica, y Oscilación Sureña designa los cambios de presión atmosférica con ella relacionados.) (SELECCIONES DEL READER’S DIGEST, Enero 1984, p. 31)

guacha または **wacha** (俗) 尻。ケチュア語で wa は表面, achack は後の部屋。

guaneador m. (俗) 尻。海鳥の糞を意味する guano から来たと思われる。

guano m. 海鳥の糞。肥料に使われる。パラカスの沖の Ballestas 島で集糞所を見たことがある。

Ha amanecido lindo. Un abrazo de corazón. 「すばらしく夜が明けました。心からご挨拶申し上げます」。1983年元旦のラジオ放送での放送局からの挨拶。

hambruna f. 飢餓 (= hambre)

En un solo pueblecito, Silemo, 83 habitantes murieron de hambre y la hambruna amenaza a miles más de ellos, de acuerdo con un informe de

un misionero recién recibido aquí. (El Observador, 16 de noviembre de 1982)

huarapo m. 果物をシロップにつけたもの。カハマルカ地方の料理。

hueco m. (卑) = vulva

incanato m. インカ帝国時代, インカ領。

Farrington vio por primera vez las ruinas en julio de 1982, cerca del pueblo de Urubamba, cuando se ocupaba de estudiar los canales y terrazas agrícolas del **incanato** situadas entre Pisac y Ollantaytambo. (El Observador, 6 de febrero de 1983)

juegos deportivos 運動会。トゥルヒーリョで子供たちの行列に出くわし, なんの祭りかたずねると, ある私立学校の運動会のためとのことだった。

limones (俗) 小さな胸。女性の胸について言う。

línea f. 釣り糸。

locro m. トウモロコシ, カボチャなどを煮たもの。

Lo perfecto es malo. 諺で「完全を求めて何もしないのはいけない」「まずやってから反省した方がよい」。こうした意味に使うとある日系3世は言った。

mama pacha 母なる土地。

22 niños, entre 6 y 8 años, del Instituto de Educación Franklin D.

Roosevelt, que siguen un curso de verano, han realizado un importante experimento pedagógico. Con la-cooperación y asesoramiento del Instituto de Cultura Alimentaria Bicher-Benner, han recibido una parcelita de tierra de 1 x 1 metro y un cajón vacío; y han apreciado lo generosa que es la madre tierra o **mama pacha** como le llamaban los antiguos peruanos. (El Observador, 23 de enero de 1983)

molle 9月の末の山峡で見かけた赤い小さな実をつけた木。Leonardoの説明によると, リューマチ, 傷にその実をすりつぶして塗るとよいという。

nalgas f. pl. de negra 立派な尻。黒人女性の大きなそれから来たのであろう。

narcotraficante m. f. 麻薬業者。普通麻薬は **droga** と呼ばれていた。

ocote (俗) = trasero. ケチュア語から来たといわれる。

(el) **País de los mil lagos** フィンランドのこと。

parrillada *f.* 網焼き料理。リマにはいくつかの **parrillada** を食べさせるレストランがあったが、牛肉、内臓、ソーセージなどが鉄板の上に乗って出てきた。だから網焼きというより鉄板焼きという感じだった。

(la) **peruanidad** ペルー精神。Oiga 誌1982年12月20日号に次のような文章が載った。

Quieren que se legisle para el Perú, que se piense y se escriba para los peruanos y que se resuelva nacionalmente los problemas de la peruanidad, anhelos que suponen amenazados por las filtraciones del pensamiento europeo.

同じ筆者が次のように述べている。

Sarmiento que es todavía uno de los creadores de la argentinidad, fue en su época un europeizante. No encontró mejor modo de ser argentino.

pichula *f.* (俗) = pene.

pinga *f.* (俗) = pene.

pizzeria *f.* ピッツア屋。

(el) “**Planeta de los Simios**” 猿の惑星。映画の題名。

映画といえば, **Apta para todos** (年令を問わずだれが見てもよいもの), **Mayores de 14 años** (14歳より上の年令の人だけが見られるもの), **Mayores de 18 años** (18歳より上の年令の人だけが見られるもの)に区別されており, 3番目のものには次のような注意が付くものがある。

ADVERTENCIA: La visión de esta película por las escenas de sexo y/o violencia que contiene, puede estar reñida con la susceptibilidad religiosa, moral, emocional o sensitiva del espectador.

plásticos *m. pl.* ナイロン, ビニール類。

En el centro de Lima cuadrada se mojaron los kioscos y carretillas, obligando a sus dueños a taparlos con plásticos y cartones. La lluvia afectó más a los noctámbulos y gente que duerme en las calles. (La Prensa, 15 de noviembre de 1982)

poto *m.* (俗) = trasero.

(el) **Príncipe de la Botánica** リンネのこと。

rabia *f.* 恐水病, 狂犬病。1982年4月ごろリマでは狂犬病が流行した。飼

犬および野犬の注射について連日報じられた。一見健康そうな犬でも病原体をもっている可能性が高いので、犬には触れてはいけないと医師に注意された。

raca *f.* (俗) = pene.

sancochar 煮る。

sapo *m.* (俗) = pene.

senderista *mf.* Sendero Luminoso のメンバー。; *adj.* センデロ・ルミノソの。

Siga. Carte の欄参照。

totora *f.* トトラ。前稿では **caballito de totora** というトゥルヒーリョのワンチャコの海岸のものをとり上げたが、チチカカ湖に住むウロ族たちは **balsa de totora** を使っている。チチカカ湖ではトトラを湖底から引き抜いて噛ってみたことがあるが抵抗なくのどを越した。植物の専門家はイグサだろうという。チチカカ湖畔では牛が腹まで水につかってトトラの茎をはんでいる。日本でのガイドブックやテレビなどの報道でも、これらの **caballito** や **balsa** を葦舟と呼んでいるので、私もそれになった。

tres misterios del catolicismo カトリックの3つの謎。ペルー人もイスパニア本国の人に負けずジョーク好きである。あるとき、大学の事務官の **De Carpio** が「カトリックの3つの謎とは何か」ときくので知らないと答えると、「その1、イエズス会が何を考えているのか。その2、サレジオ会はどこから資金を手に入れているのか。その3、オプス・デイは何をやり出すのかの3つだ」と答えて笑った。現在のペルーでカトリック内での勢力がうかがえて面白く思ったが、私がペルーに滞在しておどろいた事のひとつはリマなどでの宗教の多様なことであつた。日系人社会でも仏教やキリスト教だけでなくいろんな新興宗教が浸透していることであつた。

tulipán de Africa 火炎樹。リマの人々は植物や花を愛するのかが街路樹にも庭木にも色あざやかな花をつけるものを植えている。1ヵ年の滞在の間に私はハイビスカス、ブーゲンビリア、ポインセチアなどとすっかり馴染みになった。

ugsha (俗) = masturbación. **Piel** 誌にはケチュア語から来たが、今は

めったに使われることがないと説明されている。

vara *f.* (俗) = *pene*.

vergajo *m.* (俗) = *pene*.

yuca *f.* (俗) = *pene*.

3.

ペルー滞在中毎日目を通した新聞は *El Comercio* と *El Observador* であった。時折 *La Prensa* を読んだ。週刊誌としては *Oiga* と *Caretas* が代表的で定期的に購読した。これらは常設の売場で売っているが人通りの多い街角では路上に並べて売る人もあり、少年たちは信号待ちしている車にたくみに近づき売りつけることもある。洗濯バサミではさんでつるした雑誌でおおわれた新聞売場の姿はイスパニアでも、ラテンアメリカの他の国でも見られるのと同じである。新聞・雑誌の販売とタバコ・駄菓子の販売を兼業しているところもよくある。とくにビルの一隅にある売場によくあった。そうした売場で新刊書籍の販売をしているところもあったが、書籍はやはり書店に行かねばならない。

できるだけ出くわした書店には一度は足を踏み入れるようにしたが、リマの場合、アルマス広場やサン・マルティン広場を中心としたセントロに一番多く、次いでミラフローレス界隈に多かった。またピリャレアル大学からサン・マルコス大学の旧学舎前の広場にかけて書籍を売る露天商が並ぶ。エル・ビレイという書店のように新刊本と古書の両方を扱うところもある。書店の販売方法が古いイスパニアの書店同様に書籍が店員の背後の棚に並んでいるので、客は欲しい本の名を言って見せてもらうというやり方の店が多かったが、1カ年の滞在期間の間に急速に変化し、ほとんどの店が日本の書店同様客が自由に本を手にして買物を決める方式をとるようになった。ただ、リマで一番大規模な店舗をかまえているストゥディウムという書店もこの方式だったが、店員に買うことに決めた本を渡すと、その金額を記入した紙をくれ、それをもって会計に行き、支払いを済ましてくるとその間に包装してくれているという方式は維持しつづけていた。

イスパニア語の本はアルゼンチン、チリ、メキシコで印刷されたものが私の予想よりは少なく、イスパニアで印刷されたものが圧倒的に多いよう

な気がした。この状況は永続的なものなのかどうか私には判断しかねるが、マス・コミ同様、ペルーの言語にイスパニア本国の言語が影響を及ぼしつづける一因になるだろうと思った。

4.

最後に地名の表記について触れておく。Callao は「カヤオ」「カジャオ」「カリャオ」のどれが一番よいのか。Trujillo の場合は「トゥルヒーヨ」「トルヒーヨ」「トゥルヒージョ」「トルヒージョ」「トゥルヒーリヨ」「トルヒーリヨ」のどれがよいのか。私は ll の綴りであることを表示したくて「カリャオ」「トゥルヒーリヨ」と表記することにした。

Huaral, Huascarán などの場合、「ウアラル」「ワラル」; 「ウアスカラン」「ワスカラン」のどちらがよいのだろうか。Chavín de Huantar を「チャビン・デ・ワンタル」と表記されているのをよく見かけるし、quechua を kechwa と綴られることがある。それらの点からみると Huaral は「ワラル」Huascarán は「ワスカラン」と表記した方がよいのかも知れない。しかし私は「ウアラル」「ウアスカラン」の方を選んだ。その理由はかつて田中耕太郎氏が「ラテンアメリカ史概説」を著わしたときベネズエラの表記を「ヴェネズエラ」にしたといわれるのにならった。田中氏は「ヴェ」と書きながらイスパニア語では [ve] と発音しないことを承知されているのである。ただ ve と綴られることを表示しようとしてのことである。guacha と wacha の二つの綴りがあることから、gua と wa も同じように発音される可能性が大きいことはボリビアで経験したことがある。チチカカ湖畔の町 Guaqui は案内してくれたボリビア人のモラレス氏の発音では何度きき直しても Waqui と聞こえた。